

横芝町史の出版

早ければ年内に

横芝町史はようになっていくのだろうか。町史編さん事務局では次のように言っています。

予定より遅れて申し訳なく思っています。篤志家の皆様のご協力により、史料はかなり揃えることができて感謝しています。

漸やく出版のメドがついて、先日印刷製本会社と契約を結び、早ければ年内に発刊できるといふ段取りにまで漕ぎつけ、鋭意編集に励んでいます。

何しろ、本業が忙しい委員さん方が、手わけして纏めあげ

るので、なかなか計画どおりに進捗しない困難さがあります。その点ご理解いただき、と思っています。

では、どのような本ができるのか、といいますが、布表紙で瀟洒な装訂のA5版千ページ。きれいなカラー写真なども入り、その道の権威者の特別寄稿も数篇いただけることになっており、充実した内容、整った体裁はきつと大方のご期待に添い得ると確信しています。

建設のあゆみ

4 月 ~ 5 月

完成した事業

① 建築工事

横小第六期増築

179.08㎡

② 道路舗装工事

古川線(古川青年館通り)

317.6㎡

値段はどのくらいになるのだろうか？何分、限定本のごとです。少なからず高価になることは免れません。製本部数を多くすることによって、単価を下げることもできるわけですが、先日契約をした条件では、一冊二千五百円くらいにつき千五百円くらいにつき一冊の割で購入していただければ二千円くらいになる見込みです。各ご家庭で是非一冊を書架にお備え下さるよう希望します。

※※※※

借用資料の返戻について

篤志家のご好意によって提供していただいた古文書など史料は、去る三月末日に返戻する予定でしたが、校正の段階で原文との照合の必要を予想して、町史の製版がすむ九月頃まで保管させていただき、対しては何時でもご返却いたしますので、お申越し下さるようお願いいたします。

年金で生活を

いまの年金制度は「国民皆年金」というしくみになっています。農漁業や商業などの自営業にたずさわる人々は、将来夫婦そろって国民年金を受けられます。また、会社で働くご主人には厚生年金があります。しかし「家庭」という大切な城を守って働く奥さんだけに年金がないというのは、非常に不公平なことではないでしょうか。

そうではありません。国民年金にはこのような方のため任意加入(義務ではないが、本人の希望で加入できる)という制度がつけられているのです。

近い将来は、年金で生活する時代になると言われています。ですから年金による備えは万全にしておきたいもので

今月の予防接種予定

実施月日	場 所	種 別	該 当 者
5月9日	横芝町役場	生ワク投与	S.47.7.1~47.12.31生まれ
" 10日	横芝中学校	B・C・G	全 生 徒
" 11日	大総小学校	日本脳炎	全 児 童
" 15日	横芝小学校	"	"
" 16日	上塚小学校	"	"
" 17日	横芝中学校	"	全 生 徒
" 21日	横芝第1・2保育所	"	保 育 園 児
" 22日	フタバ保育園	"	"
" 23日	横芝町役場	"	一 般
" 24日	大総公民館	"	一般・保育園児
" 25日	上塚公民館	"	"
" 30日	横芝町役場	"	一 般
" 31日	大総公民館	"	一般・保育園児

す。そのために奥さまも、いますぐ国民年金に加入なさって、安心して暮らせる次のような保障を確保されてはいかがでしょうか。

(老令年金)
六十五歳からの安定した暮らしたる
保険料納付二五年のとき
月 八、〇〇〇円

(障害年金)
ケガや重い病気になった時
障害の程度一級
月一、〇〇〇円
二級
月 八、八〇〇円

(母子年金)
ご主人に先立たれたとき
お子さま一人ならば

国民年金の給付には、このほかに遺児年金、通算老令年金、準母子年金、寡婦年金および死亡一時金があります。そして、これらの年金額は最低五年ごとに、その時代の物価や生活水準に応じて引き上げられることになっております。

国民年金に加入すると、月々保険料を納めることになり、保険料は一ヶ月五五〇円です。そして、国も保険料の半額に相当するお金を負担し合わせて積み立てられます。将来の保障はこの合計額に見合うわけですからたいへん有利です。



横芝区会四月例会

土屋 粟水
春眠を耐えて理髪の椅子にあり

石川 奇水
入学児烈風を勇み降り来し

若梅あやめ
黒竹の筍の伸び日々楽し

藤代 ゆう
筍を掘りて届けむ嫁きし娘に

千島 すみ
春眠に国盗りもないうち勝てず

早川 政雄
こころよき雨春眠を妨げず

木下石果子
筍や土の匂いの重くして

佐久間美枝子
杉の古木確かに芽吹く庭

加藤 庄長
事務机ならへ春眠許し合う

三枝 句城
日に風に牡丹の蕾日々ほぐる

林 義村
春眠を破る長距離電話かな

古谷 紅雲
筍の土産物重たくバスに乗る

伊藤 保人
春眠の格子戸かたき花街かな
関門の水とうとうと散る桜
師に贈る初筍を掘りにけり
鈴木 武雄
次回 五月十二日 一時半
兼題 葉桜 田植